

記入例

様式 2 号

(市町村用)

事業実施年度	令和〇年度
補助対象者	〇〇〇市町村

令和 3 年度〇〇〇市町村事業実施計画書（又は完了報告書）
（人・農地プラン実質化推進支援事業）

1 対象地区

対象地区数	対象地区内集落数	対象地区内耕地面積
地区	集落	ha

2 対象地区の現状・課題と対応（取組内容）

現状・課題
<p>※ これまでの取組状況について、数値等データを元にして具体的に記載すること。</p> <p>※ これまでの取組等を通じて明らかになった課題について具体的に記載すること。</p> <p>例) 〇〇市では、令和 2 年度末までに市内の耕地面積の〇%を占める〇地区においてプランを実質化する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を懸念し、関係者一斉に集まったの会合の開催を自粛し、関係者の合意を得るのに相当の時間を要することから、うち〇地区では令和 3 年度に取組を延期することとなった。工程表を延期した地区では、全てアンケート、地図作成まで完了しているが、うち〇地区では、地区内の農地面積の〇割以上が 70 歳以上で後継者不在であり、中心経営体による将来の引き受け意向面積を上回っている。</p>

対応（取組内容）
<p>※ 「現状・課題」で挙げられた課題に対し、どのように対応していくのか、課題のどの部分に対して本事業を活用するのか明記すること。</p> <p>※ 本事業終了後、地域の話合い等を持続的な取組とするための工夫等について記載すること。</p> <p>例) 耕作者が決まっていない農地については、地域内の中心経営体や現在の入作者へさらなる規模拡大を呼びかけるとともに、近隣集落の入作候補者や市内の新規就農者を含めた話合いのために本事業を活用し、人・農地プランを実質化させ、将来の農地利用の方針を明確化する。検討の際、各耕作者から耕作希望のエリアをヒアリングし、将来の農地利用についてあらかじめゾーニングを行い、プランの取組を実行する際に、定期的に担い手同志による話合いの場がもたれるような体制を構築する。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、対面での会合は人数を絞って開催したり、持ち回り等の手法により計画的に話合いを行う。</p>

3 取組内容と経費

取組内容	事業費		積算根拠 (内容、回数、単価等)
		うち国費	

記入例

別紙のとおり			
合計	円	円	

(注)

- 1 取組内容と経費は、Excelの「(別紙)取組内容と経費内訳」を添付してください。
- 2 事業実施提案書には、完了時期を見直した工程表(次の参考様式を参照)を添付してください。
- 3 対象経費を確認するために必要な資料を添付してください。
- 4 本様式を計画変更又は事業完了報告書とする際は、変更前の事業計画の内容を括弧書きし、変更後の事業計画の内容を裸書きしてください。
- 5 事業完了報告書には、人・農地プラン及び作成した地図を添付してください。